

友好祭ニース

NO-7
1957.6.28

第六回世界青年学生平和友好祭
東京都千代田区丸ノ内一ノ一
交通公社内工(23)一六七九番

集団的陳情要請運動始る

二十三日の旅券獲得全国代表者会議の決定に従つて二十四日東京に於いて都内代表団員を中心として早速各方面への要請陳情が開始され、これはめん密な情勢分析のもとに進められてはいる。云うまでもないがこれまでの常任実行委員会の接渉から事態は新しい段階に入らうとしている。

二十四日は、集合した各代表団員が交渉委員と打合せ後、社会党曾根国会議員、自民党野沢国会議員、社会党河野国会議員、社会党帆足国会議員、社会党細辻国会議員に協力要請を行つたほか、外務省に陳情要請を行つた。

この後第二十一回常任実行委員会が開かれ、二十四日の報告に因して検討を行い、当面の行動プランを立てた。二十五日以降も同様の各方面への運動が続けられる。

樹木

県内からあわせて九名の代表を送られる愛知県では左記により歓送会が開かれる。

- 一、派選代表結団式
二、代表に希望と要求を托す会
三、囁声サークル「平和と友情」
四、映画会

壮行会次第

中国、ソウエト資料展、ワルシャワ、フエスティバルの記録、開会挨拶
第二会場
民族舞踊、映画「ワルシャワ、フエスティバル」の記録、開会挨拶
全行進を午後九時までに終了する。
尚同日同会場で「日ソ中国文正常化道民大会が午前十時より開かれる。講師、夙見草、内山完造の二氏。

左記により実行委員会により壮行会が開かれる予定である。

とき 六月二十九日午後六時より

ところ 教育会館ホール

北海道

代表の歓送会を含め五ヶ平和友好祭北海道集会は六月三十日午後二時より中央創成小学校で次の内容で行われる。

- I 各階別代表討論集会と代表団結成式、
とき 三十日午前十時より
ところ 幼稚園会館五階

これは派遣代表がそれぞれのテーマによりモスクワ、フエスティバルへの派遣北海道代表の歓送会を含め五ヶ平和友好祭を見てくるか？ 反対について報告しそれを中心にして討論し北海道として充実したものとしてゆく。北海道代表団を編成し役員を決め相互援助と統一ある行動を行う。

え 平和友好祭北海道集会

とき 六月三十日午後二時より

ところ 中央創成小学校（札幌市北区西二丁目）

第一部

開会挨拶、実行委員長挨拶、経過報告と代表氏名発表、乗賓メツセーツ、階別代表挨拶、提衆と決議、

全代表花束贈呈と自己紹介、団長挨拶、合唱と、

第二部

青森

高知

愛知

七月二十日、二十一日に笠置山で開催される愛知県では左記により歓送会が開かれる。

とき 七月三日（水）午後六時

ところ 商工館ホール

第一回
挨拶 実行委員会

第二回
バレエ（白鳥の湖）越智バレエ団

演劇

合唱（露士に寄す）名古屋青年合唱團

アロタラム 国鉄合唱團

名大男声コーラス

奈良県「平和と友情の山の祭典」

午後七時から高知女子大講堂で開かれる

既にカンパ運動も終了した青森では、代表歓送を兼ねて、モスクワ

祭典と地方集会を結ぶ友好祭を二十九日開催する
長野　七月二十一、二、三の三日間、平和友好祭に野宿しての、山の平和祭ヶ針
画されてい

東京

力集会を結ぶ友好祭を二十九日開催する
七月二十一、二、三の三日間、平和友
好祭に呼応しての、山の平和祭クガが針

一、全員合溫、東京モスクワ 幸せのうた
日時 六月二十八日五、三〇
場所 於日本青年館

渉外部より

東京祭典近づく
第六回世界青年学生平和友好祭東京実行委員会では友好祭の東京祭典を開催することに至つた。東京実行委員会は全般的の青年婦人學生の皆さんの中より多くの方々が参加されるよう要望致します。特にモスクワ代表団四六名に全般的の青年婦人學生の状態はどうなつていいのか？ その他多くの議題で次の如く小集会を開催することになりました。

友好祭ニユース編集部から

友好祭ニュース編集部から
1 今号のニュースにはいくつかの地方の祭典
計画、歓送会計画の予定をのせました。各
地方の計画は必ず事務局まで集中されない。
涉外部その他各部からのお知らせは特に代
表田代庄蔵をもつて下さい。

第一回等の会議で出た結論を代表團がモスクワにて
各国の青年婦人学生と交遊する中で生かしていく
のです。そして世界、各国の人々と理解を深め友情
のきずなを永遠なる平和への願いと共に全青年婦
人学生のものとしたいと願つています。

第一
部

一、同我者方為之主，不然則爲公私。

中央銀行委員会換算表

東京美行委員長撰

七
少
紹
介

一、小集会報告 五部門代表 一、代表紹介

一 花束贈里

第二部 文化代表發表

一、六段 琴合奏（邦樂代表）

一、櫻夕合唱（今後三年代表）

一、秋の調子　西昌、并春、夏治、藤井、栗代、表

和山詩一
猶似一作
和山詩
并美作
一
庚辰
(乙未代
表)

一
樂
凡
酒
樂
（并集作表）

花笠踊り 韻譜(洋舞代表)

トシ太の死るや
人形劇アーヴ

獨唱
(音樂代表)

一、詩の朗讀

一、エピローグ

相馬盆唄、そーらん節、ちぢみ音頭、その
他、舞踊、合唱、那衆、合同出発